

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	国際交流・協力 コース	対象学年	1 年
講義日	令和 6 年 4 月 18 日(木)		
テーマ	文化人類学と異文化理解—オセアニアを中心として		
講 師	吉岡政徳		
<p>講義内容</p> <p>本講義は、以下の内容で進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化と自文化中心主義              私たちは、無意識のうちに自分が生まれ育ったところの文化的フィルターを通して、異文化を見てしまいます。こうした色眼鏡を通して異文化を見てしまうことを、自文化中心主義と呼びます。ここでは、こうした「偏見」が生まれる背景を考えていきます。</li> <li>2 進化主義から文化相対主義へ              進化主義は、すべての社会は未開から文明へと進化していくという考えかたに基づいたものですが、この考えは文化相対主義によって批判されたました。ここでは、こうした考え方の推移について考えます。</li> <li>3 フィールドワークと人類学              文化相対主義を実践するのが、フィールドワークと呼ばれる長期の現地調査です。文化人類学の行うフィールドワークとはどういうものかを考えます。</li> <li>4 オセアニアとは              私がフィールドとしているオセアニアとはどういうところか、概説します。</li> <li>5 「辺境としてのオセアニア」イメージ              オセアニアは常に辺境のイメージで語られてきました。ここでは、こうしたイメージを創り出す色眼鏡の元凶を考えます。</li> <li>6 近代を生きるオセアニア              我々と同時代を生きているオセアニアを考えます。</li> </ol>			
<p>講師からのメッセージ</p> <p>質問があったら、私の話を中断してもかまいませんので、その場で手を挙げてください。質問への回答を先にしてから、話を続けます。</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	国際協力・交流コース	学年	1年
講義日	令和6年 5月17日(金)		
テーマ	PHD 協会の活動 ～生きることは分かち合い、弱き者と～		
講師	公益財団法人 PHD 協会 事務局長 坂西卓郎		
講義内容			
<p>1. ねらい</p> <p>神戸の国際協力 NGO である PHD 協会の活動を通じて、国際協力・多文化共生への理解を深める</p> <p>2. 主な内容</p> <p>午前:PHD 協会の活動紹介及び SDGs導入、じゃんけんワークショップを通じて国際協力への理解を深める。時間があれば国内での難民、避難民、困窮外国人支援についても紹介する。</p> <p>午後:PHD 協会2024 年度研修生としてインドネシアの方、ミャンマーの方にそれぞれ日本語で就寝地域の状況や日本での研修目的などを報告してもらおう。各研修生のテーマは以下の通りである。</p> <p>インドネシア・チャチャさん:現在、村の協同組合で活動中。村にある農産物の加工などをテーマに日本で学ぶ。帰国後は協同組合の職員として活動予定。</p> <p>ミャンマー・イさん:500 人の孤児が暮らす孤児院の先生。自身も 12 歳の時に貧困が理由で孤児院に身を寄せ、以後孤児院で暮らす。現在は孤児院、そしてお世話になった住職への恩返し気持ちで子どもたちへの初等教育や生活指導を担う。</p>			
講師からのメッセージ			
<p>例年、国際友の会の皆さんには上記研修生への日本語教育でお世話になっています。当日は研修生達がお世話になった日本語で精一杯発表させていただきます。ぜひ研修生達の声をお聴いてもらえたらと思います。</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	国際交流・協力コース	専攻	対象学年	1 年
講義日	令和 6 年 7 月 18 日(木)			
テーマ	コミュニケーション論 ―日本語をコミュニケーションの立場から考える―			
講 師	水野 マリ子			
講義内容				
<p>1. ねらい</p> <p>日本語は世界の言語の中で、「難しい言葉」でしょうか？日本語は、「非論理的な言葉」でしょうか？世界の数多くの言語の中で、日本語はどのような特徴があるのか、概観します。そして、実際に外国人とコミュニケーションを取る場合に、「やっぱり、英語ができないとね。」という考えから、「ああ、これなら日本語でも行けるかも?!」という方向へ話を進めます。</p> <p>2. 主な内容</p> <p>(1) 世界の言語と日本語</p> <p>世界には様々な言語があり、その言語使用者の数から見ると、中国語や英語のように、多くの人々に使われている言語もあれば、ごく少数の人たちの使用言語まで、様々です。このような世界の言語を形や使い方の異同について、簡単に見比べます。そして、日本語にはどのような特徴があるのか、日本人が外国人とコミュニケーションを図っていくときに、課題となるような点は何かを見ます。</p> <p>(2) 「やさしい日本語」の世界</p> <p>近年、日本と関わりを持つ外国人の中に、日本語を学習する人が増えています。昔に比べれば、なんとか日本語でコミュニケーションできる人が皆さんの周りにも多くなっていませんか？とはいえ、漢字まで読みこなして、日本人と同じように話せる人は多くありません。そこで、日本人が「やさしい日本語」のスキルを使って、少し日本語がわかる外国人と、よりよいコミュニケーションが図れる具体的な方法を提案します。</p>				
講師からのメッセージ				
<p>授業では、受講者の皆さんの積極的な参加を望みます。授業中、いくつか課題を出しますので、一緒に考えてください。</p>				

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	国際交流・協力コース	対象学年	1年
講義日	令和 6年 4月 11日(木)		
テーマ	韓国社会と文化の理解		
講 師	神戸女学院大学非常勤講師 金 泰賢(キム テヒョン)		
講義内容			
<p>第1部 韓国社会の全般について</p> <p>韓国は、1950～60年代には世界でもっとも貧しい国の一つでしたが、最近では世界 10位前後の経済規模(GDP 基準)を持つ国にまで成長しました。ところがこのような経済の高度成長の裏には激しい競争や貧富の格差など様々な社会問題を残してきました。この授業では韓国社会全般の変化の過程や現状、問題点などについて幅広く紹介します。</p> <p>第2部 韓国の食文化について</p> <p>大型スーパーに置いてある色々な種類のキムチや韓国のお酒、外国の加工食品を扱っている店に必ずおいてある韓国のインスタントラーメンやレトルトのサムゲタン(参鶏湯)、テレビのショッピングにたびたび登場する韓国風調味料、韓国の食べ物だけを扱う専門のスーパーなど、韓国発の「食」はすでに身近な存在となっています。一度食べたことのある、もしくは、聞いたり見たことのある韓国の「食」について紹介します。</p>			
講師からのメッセージ			
韓国からやってきた友人から韓国のことを聞くような雰囲気での授業ができればうれしいです。よろしくお願いします。			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	国際交流・協力コース	対象学年	1年
講義日	令和 6年 4月 11日(木)		
テーマ	韓国社会と文化の理解		
講 師	神戸女学院大学非常勤講師 金 泰賢(キム テヒョン)		
講義内容			
<p>第1部 韓国社会の全般について</p> <p>韓国は、1950～60年代には世界でもっとも貧しい国の一つでしたが、最近では世界 10位前後の経済規模(GDP 基準)を持つ国にまで成長しました。ところがこのような経済の高度成長の裏には激しい競争や貧富の格差など様々な社会問題を残してきました。この授業では韓国社会全般の変化の過程や現状、問題点などについて幅広く紹介します。</p> <p>第2部 韓国の食文化について</p> <p>大型スーパーに置いてある色々な種類のキムチや韓国のお酒、外国の加工食品を扱っている店に必ずおいてある韓国のインスタントラーメンやレトルトのサムゲタン(参鶏湯)、テレビのショッピングにたびたび登場する韓国風調味料、韓国の食べ物だけを扱う専門のスーパーなど、韓国発の「食」はすでに身近な存在となっています。一度食べたことのある、もしくは、聞いたり見たことのある韓国の「食」について紹介します。</p>			
講師からのメッセージ			
韓国からやってきた友人から韓国のことを聞くような雰囲気での授業ができたらうれしいです。よろしくお願いします。			